HS6400FDIW3SR010J

ご使用上の注意事項

フラッシュ開発ツールキットご使用にあたり、下記の点をご注意お願いいたします。

1. ユーザ登録

CD-R に添付されている SupportInfo_j.txt に必要事項をご記入のうえ、ユーザ登録してください。

2. 通信タイムアウト発生時の対応

(1) 比較的性能の低いパソコン(低速、小容量メモリ)をお使いの場合や、バックグラウンドで別プログラムを実行している場合、以下のケースで、通信タイムアウトが発生することがあります。

(a) アップロード機能を使用する

(b) Flash 書き込み後に書き込みベリファイ機能を使用する

この場合は、baud rate の設定を下げてご使用ください。

(2) 自動合わせ込み時に"Error No 15068: 応答データ受信タイムアウト"が出力される場合は、baud rate 設定を下げてご使用ください。

3. 1200bps baud rateの選択

シリアル通信スピードとして、H8/38024F, H8/38104F, H8/38124F デバイスのみ 1200bps を選択可能です。その他のデバイスでは 1200bps を選択しないでください。

4. アダプタボード(Flash Development Module)との接続

ターゲットデバイスが USB ブート製品(例:H8S/2215UF)の場合、アダプタボード(Flash Development Module)との接続はできません。

5. H8S/2172Fデバイスの周波数設定

H8S/2172F デバイスは、動作周波数が PLL 回路により2逓倍されますが、FDT での逓倍条件で2逓倍を選択することができません。よって、PLL 回路で2逓倍された値を動作周波数として FDT の入力周波数条件に設定してください。

6. アクセス権のパスワード

アクセス権を有効にした場合、設定したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。

7. リードバックベリファイ

静電破壊等によりフラッシュへの書き込みが正常に行われないとき、ベリファイエラーが発生する場合があります。この場合、FDT が異常終了することがあります。

8. アプリケーションの削除

アンインストール時に、アプリケーションエラーが発生する場合があります。この場合、一部のアプリケーションファイルが削除されませんので、手動でインストールフォルダ(FDT3.05)を削除してください。

9. QzROMプロテクト設定

プロジェクトの設定ウィンドウにて設定を変更した場合、QzROM プロテクトは"Prompt"に設定されます。

以上